

我が国のインターネットにおけるトラヒックの集計結果 (2020年5月分)

2020年7月31日

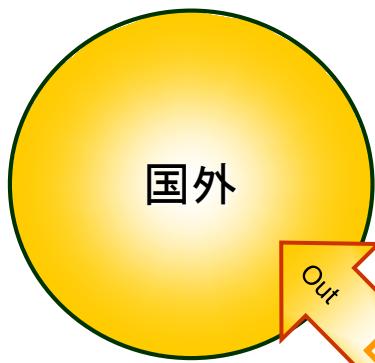
総務省 総合通信基盤局

電気通信事業部 データ通信課

1. 集計したトラヒック^{(*)1}の種類

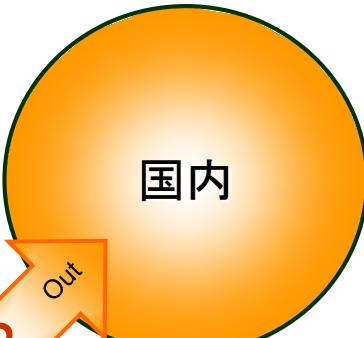
(固定系ブロードバンドサービス関連)

B 交換されるトラヒック



B2 国内で交換されるトラヒック

- ・プライベート・ピアリング
- ・トランジット
- ・国内主要IX以外の国内IXにおけるパブリック・ピアリング等により交換されるトラヒック



我が国の固定系ブロードバンドサービス契約者の
総トラヒック(ダウンロード及びアップロード)の推定値

$$\text{協力ISP9社の固定系ブロードバンド}\frac{\text{契約者のトラヒック[A1]}}{\text{総トラヒック}} = \frac{\text{(推定値)}}{\text{固定系ブロードバンド契約数に対する協力ISP9社の契約数のシェア[X]}}$$

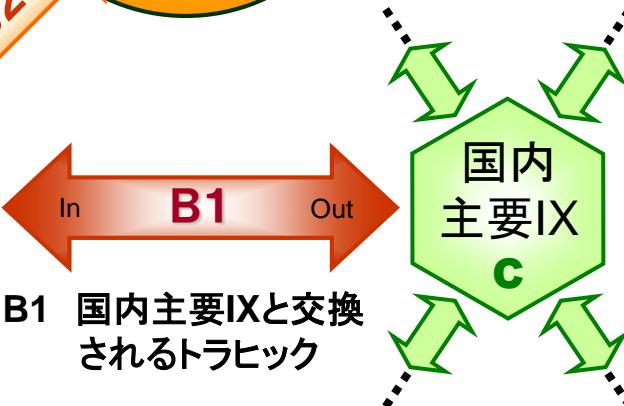
([X])=66.1%(2020年5月推定値))

B3 国外で交換されるトラヒック

- ・プライベート・ピアリング
- ・トランジット
- ・国外IXにおけるパブリック・ピアリング等により交換されるトラヒック
ただし、国内の接続点におけるトラヒックはB2にカウントする。



B1 国内主要IXと交換されるトラヒック



C 国内主要IXにおけるトラヒック

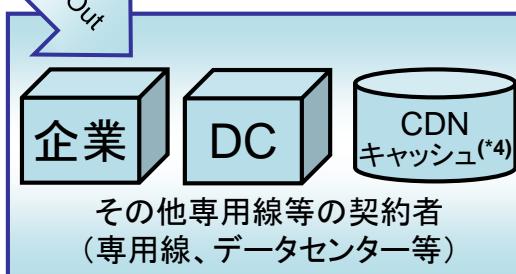
- インターネットマルチフィード(株)、エクイニクス・ジャパン(株)、日本インターネットエクスチェンジ(株)、BBIX(株)及びWIDE Projectがそれぞれ運営するIX

A 契約者別トラヒック



A1 固定系ブロードバンドサービス契約者^{(*)2}のトラヒック

- * A1は、次のトラヒックを含む。
 - 一部ISPの公衆無線LANサービスのトラヒックの一部
 - 一部移動通信事業者のフェムトセルサービスのトラヒックの一部



A2 その他専用線等の契約者のトラヒック^{(*)3}

- * A2は、次のトラヒックを含む。
 - 協力ISPのデータセンター、CDNキャッシュ、その他の内部トラヒックもここに含む

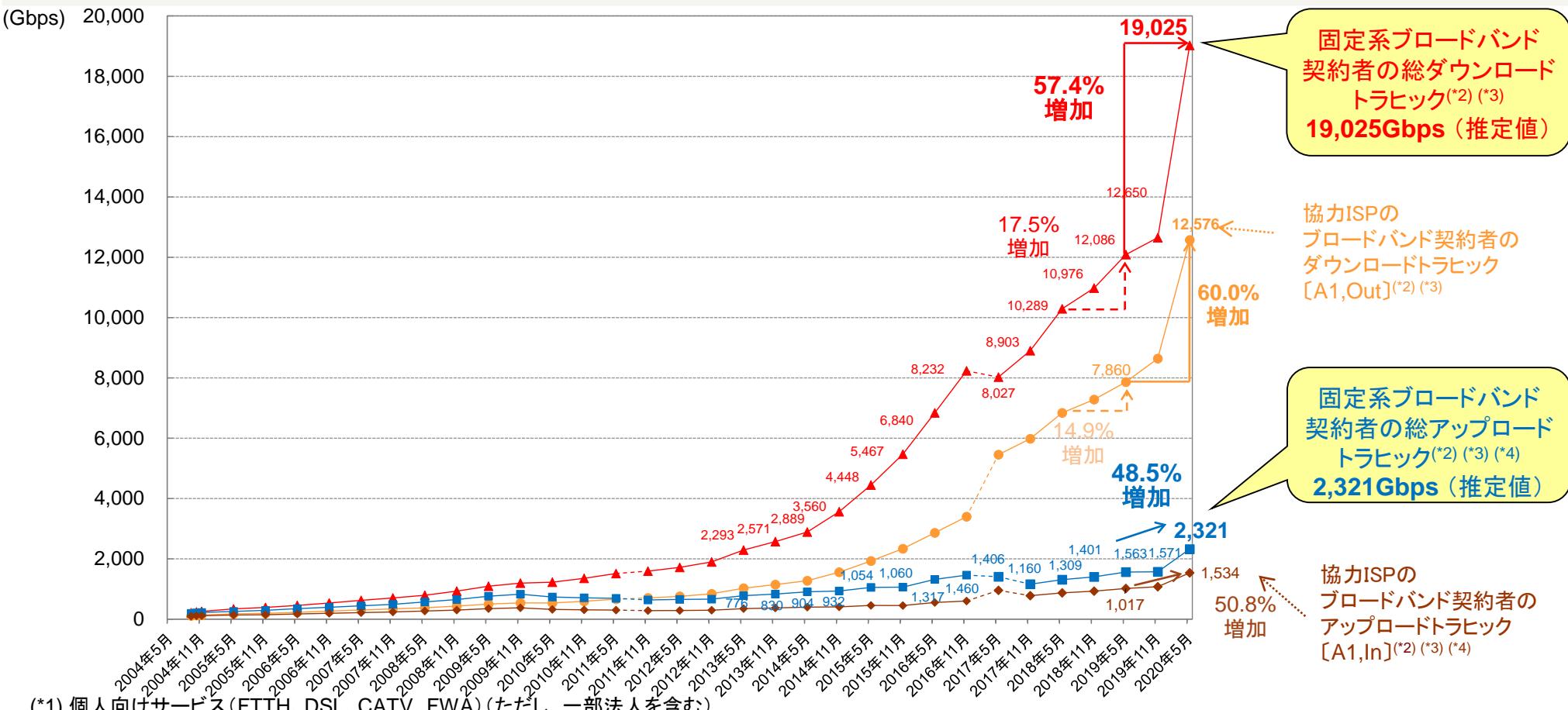
(*)1 1か月間、2時間単位で計測・集計し、1秒当たりの平均トラヒックを算出 (*2)個人向けサービス(FTTH, DSL, CATV, FWA) (ただし、一部法人を含む) (*3) 本データのみISP5社より収集

(*4) CDN(Content Delivery Network: ユーザーに効率よくコンテンツを配信するためのネットワーク)を提供するサービスにより一時的に保存(キャッシング)されたデータ

(*5) 2017年5月より協力ISPに追加

2. 我が国の固定系ブロードバンド契約者の総トラヒック

- 我が国の固定系ブロードバンドサービス契約者^{(*)1}の総ダウンロードトラヒック([A1,Out]から推定)は、約19.0Tbps(1日あたり約205PB。前年同月比57.4%増)。
- また、総アップロードトラヒック([A1,In]から推定)は、約2.3Tbps(1日あたり約25PB。前年同月比48.5%増)。
- 2020年5月の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため在宅時間が増加したこと等により大幅に増加。



(*1) 個人向けサービス(FTTH, DSL, CATV, FWA)(ただし、一部法人を含む)

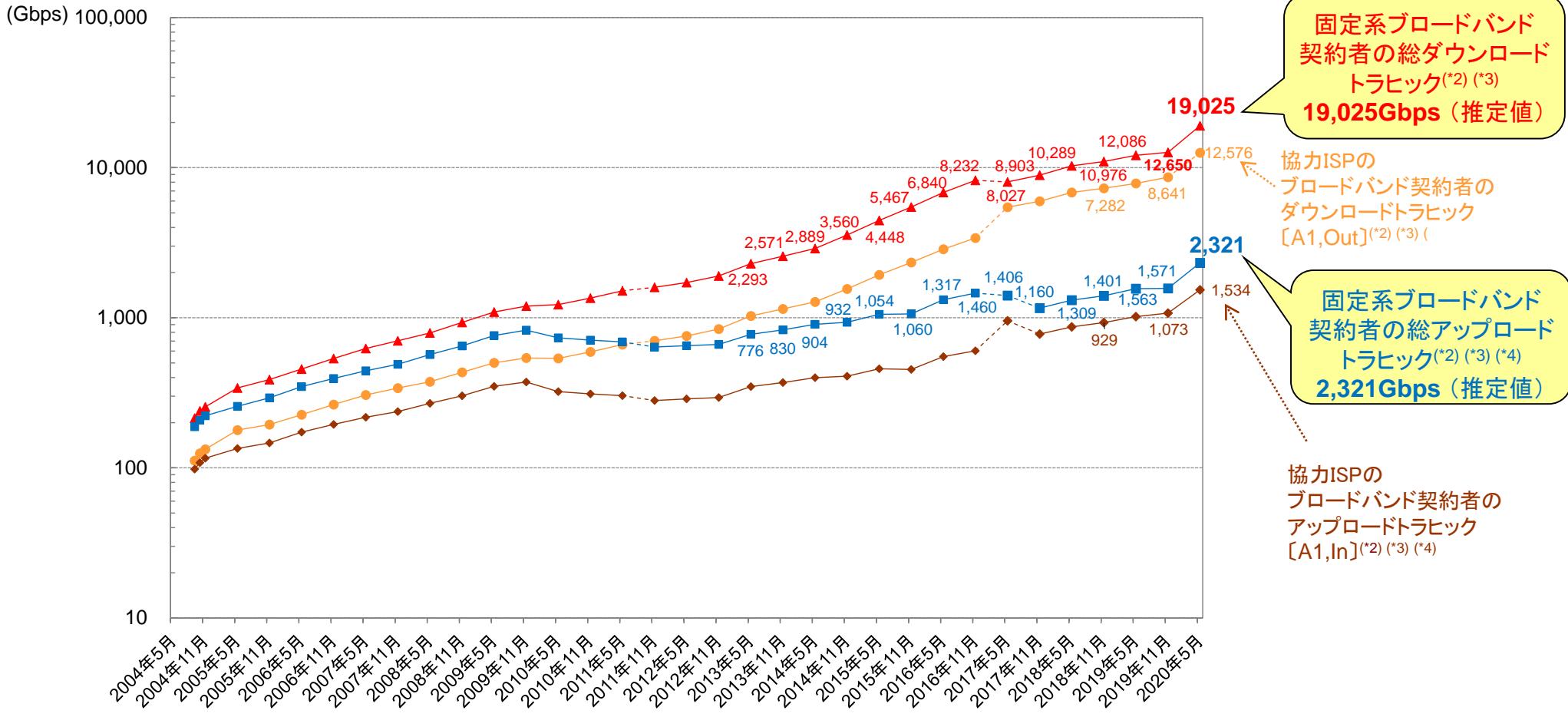
(*2) 2011年5月以前は、一部の協力ISPとブロードバンドサービス契約者との間のトラヒックに携帯電話網との間の移動通信トラヒックの一部が含まれていたが、当該トラヒックを区別することが可能となったため、2011年11月より当該トラヒックを除く形でトラヒックの集計・試算を行うこととした。

(*3) 2017年5月より協力ISPが5社から9社に増加し、9社からの情報による集計値及び推定値としたため、不連続が生じている。

(*4) 2017年5月から11月までの期間に、協力事業者の一部において計測方法を見直したため、不連続が生じている。

(参考) 我が国の固定系ブロードバンド契約者の総トラヒック

- 我が国の固定系ブロードバンドサービス契約者^{(*)1}の総トラヒック([A1]から推定)を、片対数軸グラフで示したもの。
- 片対数軸グラフでは傾きの大きさが増加率の大きさを表し、増加率が一定であれば直線となる。
- 2020年5月の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため在宅時間が増加したこと等により大幅に増加。



(*)1)個人向けサービス(FTTH、DSL、CATV、FWA)(ただし、一部法人を含む)

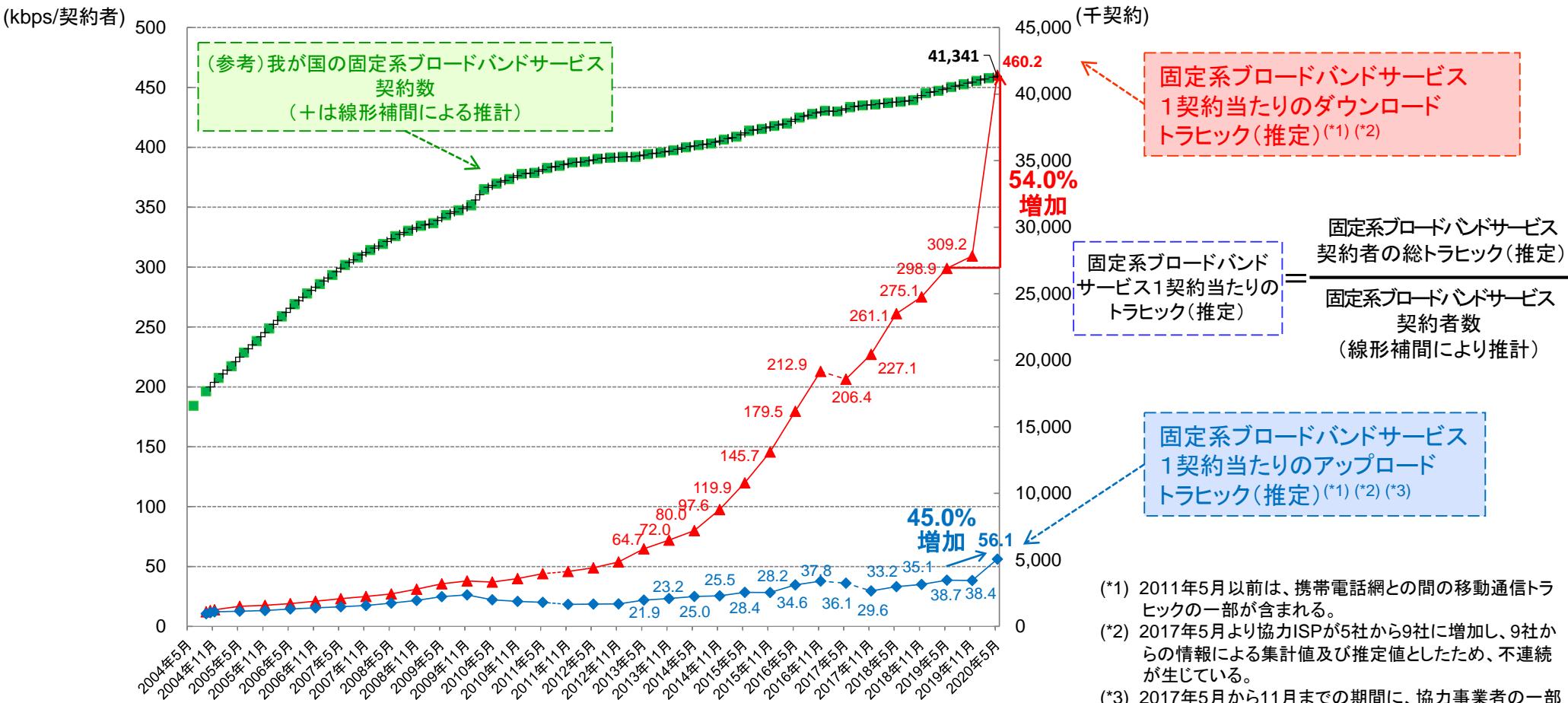
(*)2) 2011年5月以前は、一部の協力ISPとブロードバンドサービス契約者との間のトラヒックに携帯電話網との間の移動通信トラヒックの一部が含まれていたが、当該トラヒックを区別することが可能となったため、2011年11月より当該トラヒックを除く形でトラヒックの集計・試算を行うこととした。

(*)3) 2017年5月より協力ISPが5社から9社に増加し、9社からの情報による集計値及び推定値としたため、不連続が生じている。

(*)4) 2017年5月から11月までの期間に、協力事業者の一部において計測方法を見直したため、不連続が生じている。

3. 1契約当たりのトラヒックの推移

- 我が国の固定系ブロードバンド契約者1契約当たりのダウンロードトラヒック([A1,Out]から推定)は、約460.2kbps(1か月あたり約151.3GB。前年同月比54.0%増)。
- また、1契約当たりのアップロードトラヒック([A1,In]から推定)は、約56.1kbps(1か月あたり約18.0GB。前年同月比45.0%増)。
- 2020年5月の1契約当たりのトラヒックの数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために在宅時間が増加したこと等により大幅に増加。ただし、契約者数の数値は、3月末までの推移を元に推計したものであることに留意が必要。



「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表(令和元年度第4四半期(3月末))(令和2年6月29日総務省報道資料)」より計算
(https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban04_02000169.html)

(*1) 2011年5月以前は、携帯電話網との間の移動通信トラヒックの一部が含まれる。

(*2) 2017年5月より協力ISPが5社から9社に増加し、9社からの情報による集計値及び推定値としたため、不連続が生じている。

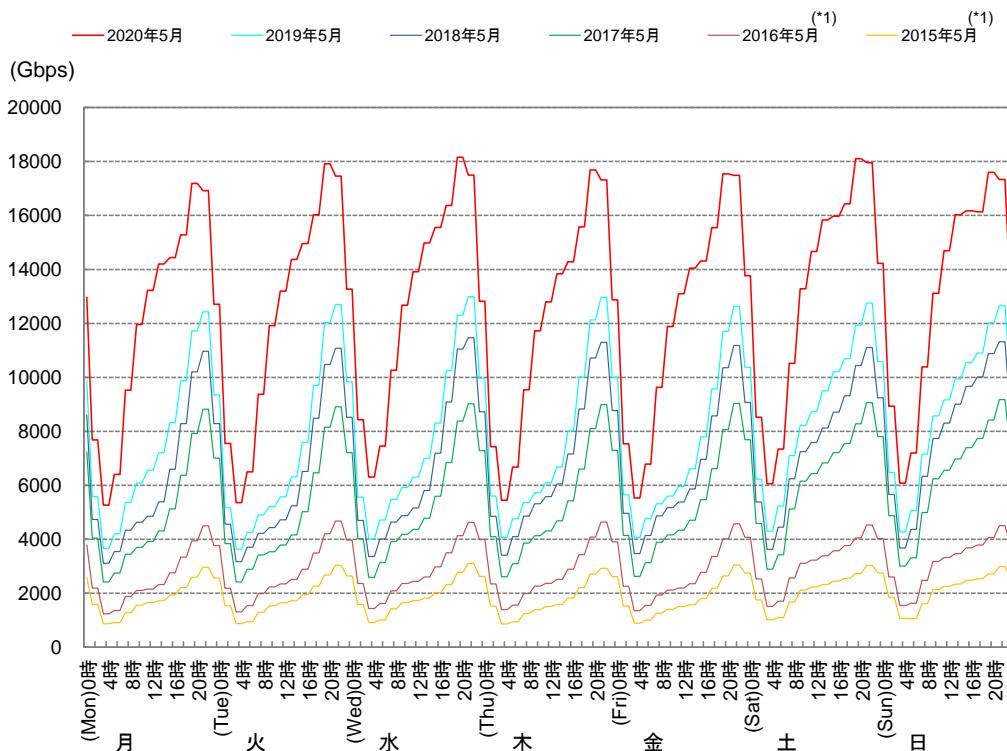
(*3) 2017年5月から11月までの期間に、協力事業者の一部において計測方法を見直したため、不連続が生じている。

4. 時間帯別トラヒックの変化（協力ISP）

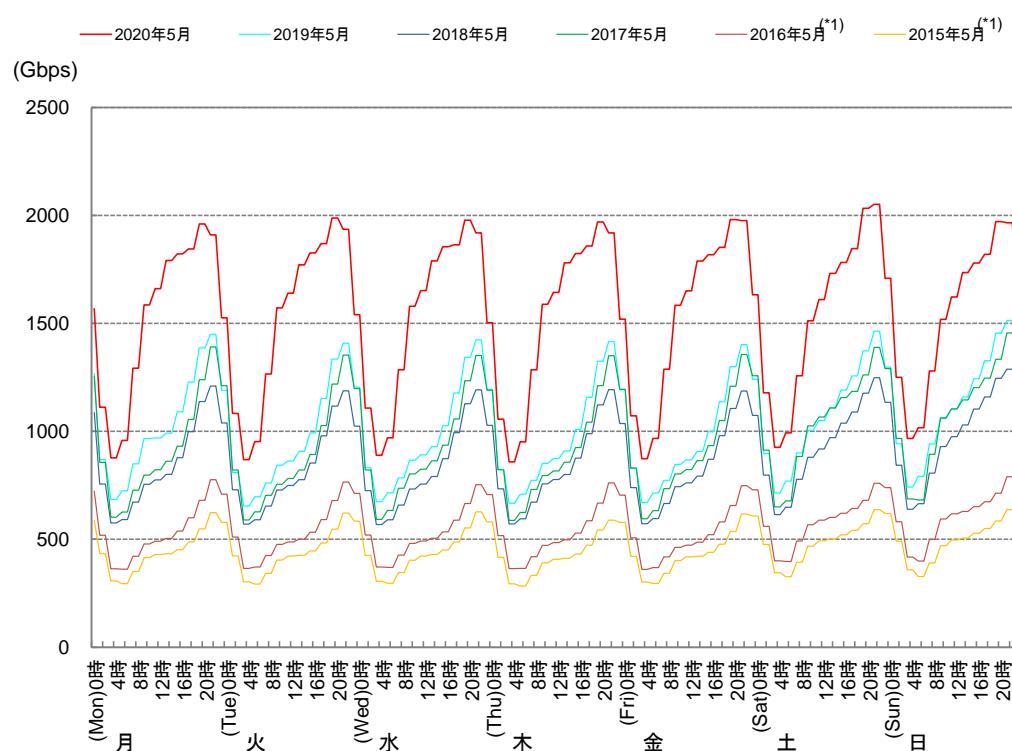
- 固定系ブロードバンドサービス契約者のトラヒック[A1]のピークの時間帯は、前回集計時までと比べて早まる傾向が確認された（2時間毎の集計値。なお、一日のピークトラヒックを比較した場合、前年同月比で平日は38.8%増、休日は40.6%増）。
- 2020年5月の時間帯別トラヒックについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため在宅時間が増加したこと等により、特に平日の日中帯のトラヒックが増える等、特異的な傾向が確認された。

固定系ブロードバンドサービス契約者の時間帯別トラヒックの変化（過去5年との比較）

ダウンロード



アップロード

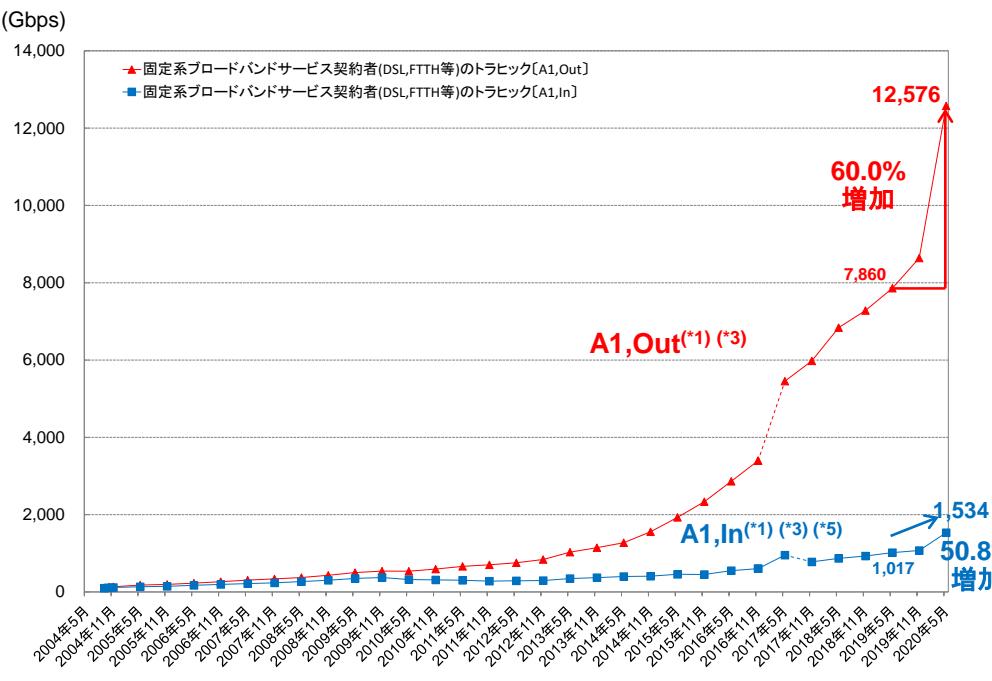


(*1) 協力ISP5社からの情報による集計値。

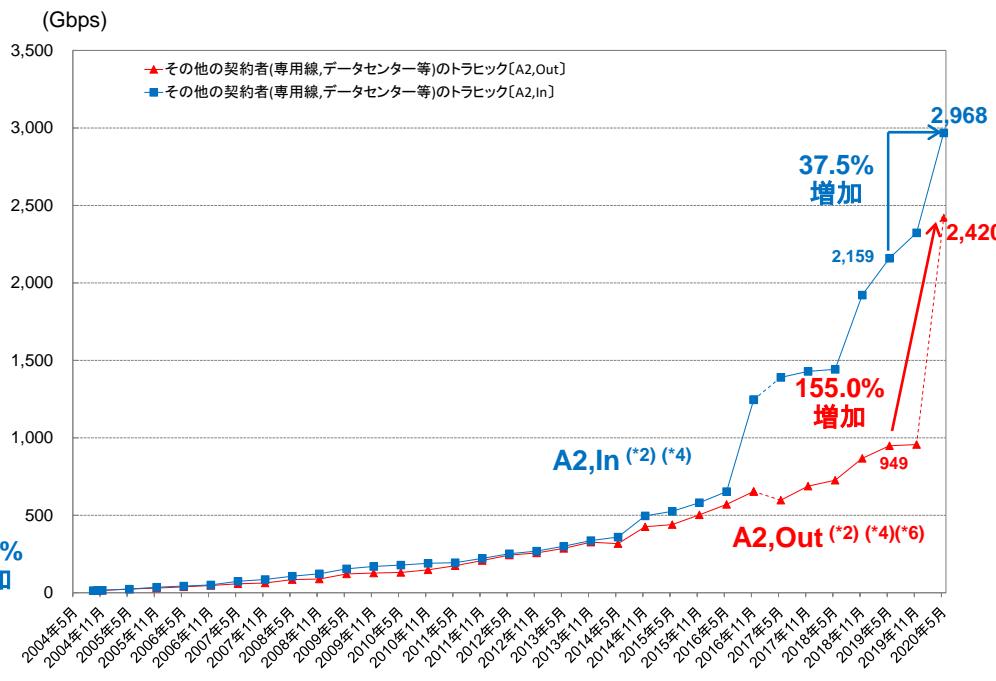
5. 契約者別トラヒックの月間平均の推移（協力ISP）

- 協力ISPの固定系ブロードバンドサービス契約者のトラヒック[A1,In],[A1,Out]は、前年同月比でそれぞれ60.0%増、50.8%増。
- 協力ISPのその他専用線等の契約者のトラヒック[A2,In],[A2,Out]は、前年同月比でそれぞれ37.5%増、155.0%増。
- 2020年5月の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため在宅時間が増加したこと等により大幅に増加。

固定系ブロードバンドサービス契約者のトラヒック[A1]の推移



その他専用線等の契約者のトラヒック[A2]の推移



(*1) 2011年5月以前は、携帯電話網との間の移動通信トラヒックの一部が含まれる。

(*2) 2016年11月から、CDNキャッシュによるトラヒックや、協力ISPがトランジットを提供する顧客ISPとの接続によるトラヒックを[A2]として扱うことを明確化。

(*3) 2017年5月より協力ISPが5社から9社に増加し、9社からの情報による集計値としたため、不連続が生じている。

(*4) 2017年5月よりA2提供ISPが3社から5社に増加し、5社からの情報による集計値としたため、不連続が生じている。

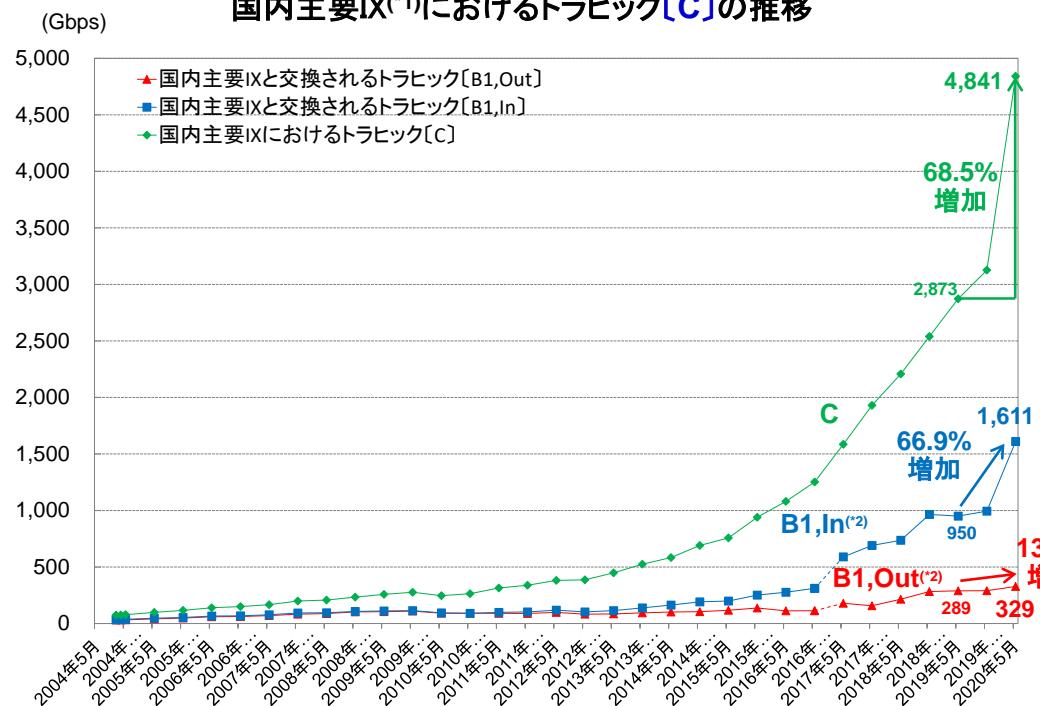
(*5) 2017年5月から11月までの期間に、協力事業者の一部において計測方法を見直したため、不連続が生じている。

(*6) その他専用線等の契約者のトラヒック[A2]のOutの推移では、2019年11月から2020年5月までの期間に、協力事業者の一部において計測方法を見直したため、不連続が生じている。

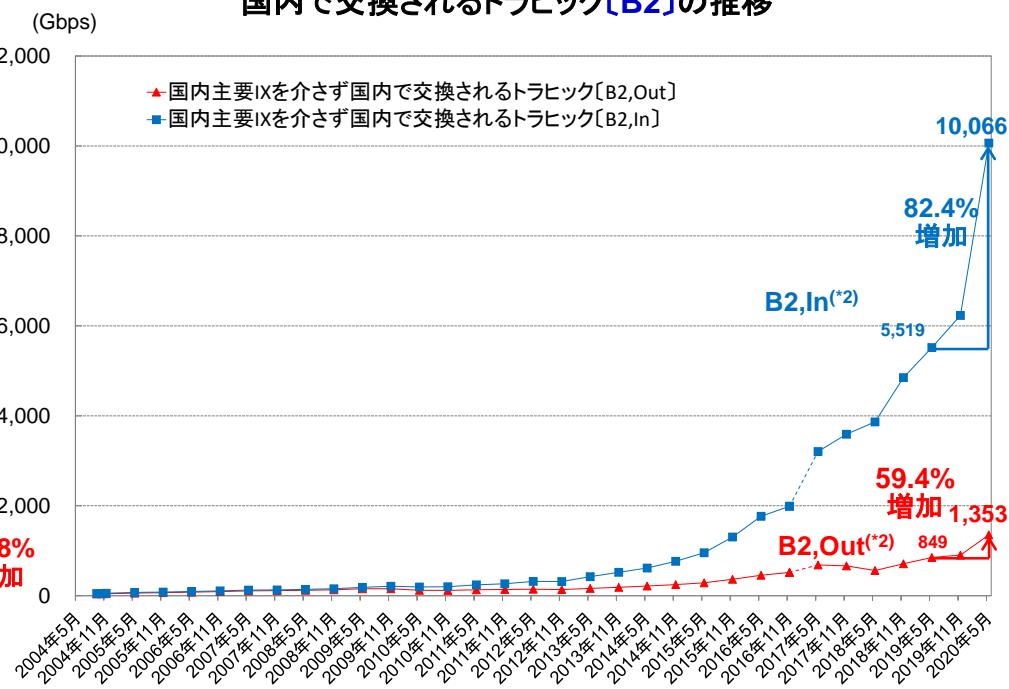
6. ISP間で交換されるトラヒックの集計（協力ISP）

- 国内で交換されるトラヒック[B1],[B2]は、いずれも流入が流出を上回っている。
- 国内主要IXと交換されるトラヒック[B1,In],[B1,Out]は、前年同月比でそれぞれ66.9%増、13.8%増。
- 国内で交換されるトラヒック[B2,In],[B2,Out]は、前年同月比でそれぞれ82.4%増、59.4%増。
- 国内主要IXにおけるトラヒック[C]は、前年同月比で68.5%増。
- 2020年5月の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため在宅時間が増加したこと等により大幅に増加。

国内主要IX^{(*)1}と交換されるトラヒック[B1]
国内主要IX^{(*)1}におけるトラヒック[C]の推移



国内で交換されるトラヒック[B2]の推移

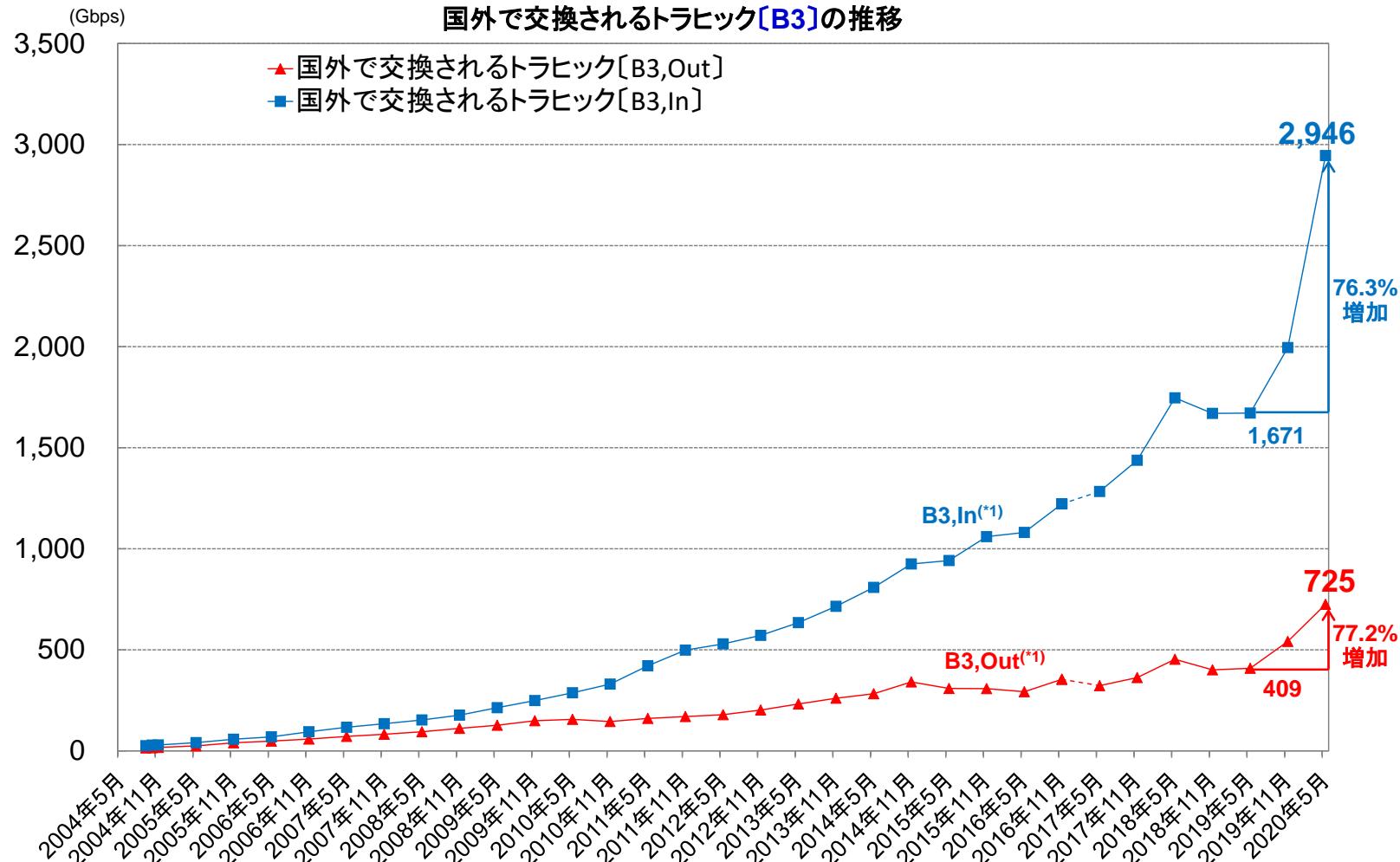


(*1) 2010年11月以前は、主要IX3団体。

(*2) 2017年5月より協力ISPが5社から9社に増加し、9社からの情報による集計値としたため、不連続が生じている。

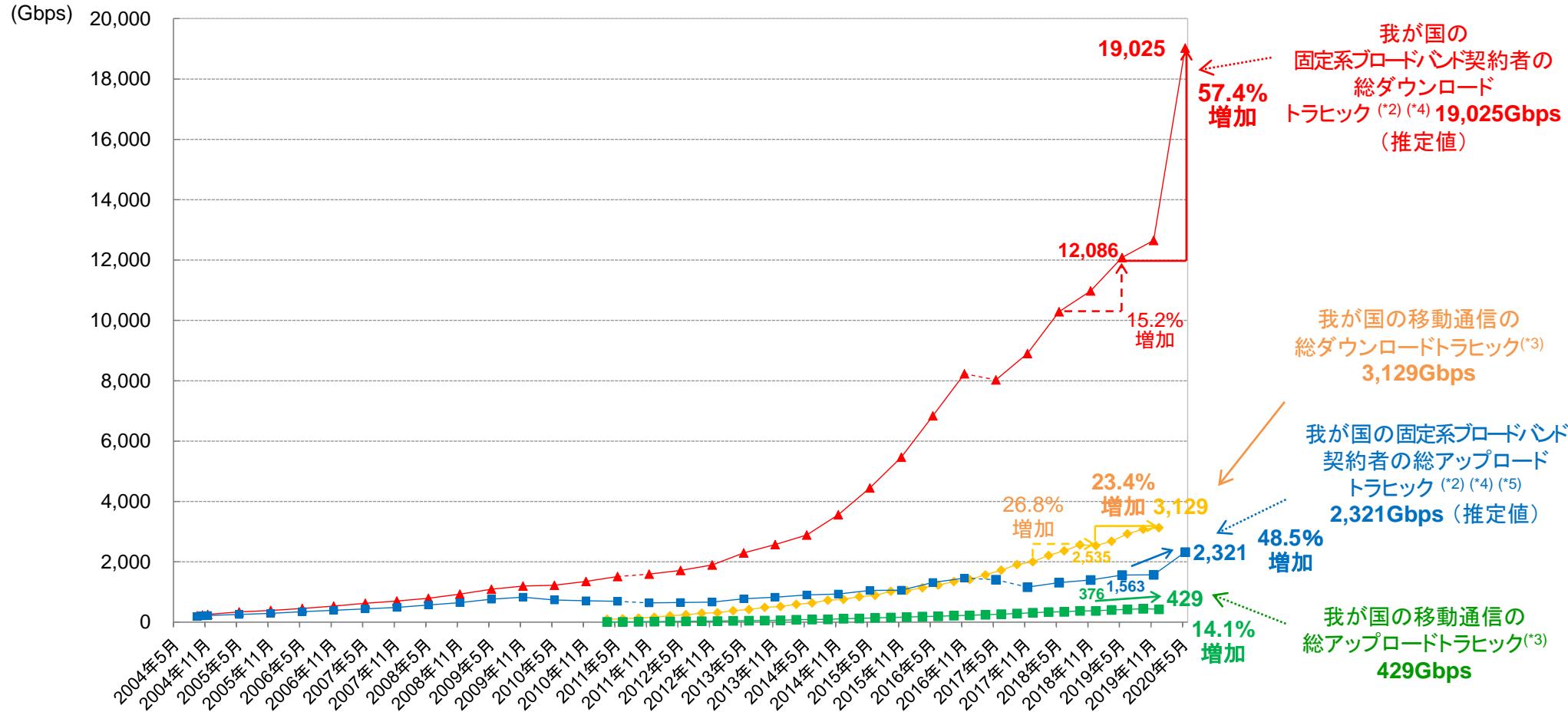
6. ISP間で交換されるトラヒックの集計（協力ISP）

- 国外で交換されるトラヒック[B3]は、流入が流出を上回っている。
- 国外で交換されるトラヒック[B3,In],[B3,Out]は、前年同月比でそれぞれ76.3%増、77.2%増。
- 2020年5月の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため在宅時間が増加したこと等により大幅に増加。



7. 固定通信トラヒックと移動通信トラヒック

- 我が国の固定系ブロードバンドサービス契約者^(*)1)の総ダウンロードトラヒックは前年同月比57.4%増。
- 我が国の移動通信(令和元年12月時点)の総ダウンロードトラヒックは前年同月比23.4%増。



(*)個人向けサービス(FTTH、DSL、CATV、FWA)(ただし、一部法人を含む)

(**)2011年5月以前は、携帯電話網との間の移動通信トラヒックの一部が含まれる。

(**3)『総務省 我が国の移動通信トラヒックの現状(令和元年12月分)』より引用(3月、6月、9月、12月に計測)

(**4)2017年5月より協力ISPが5社から9社に増加し、9社からの情報による集計値及び推定値としたため、不連続が生じている。

(**5)2017年5月から11月までの期間に、協力事業者の一部において計測方法を見直したため、不連続が生じている。